



DX推進に向けた経営支援

滋賀県信用保証協会では、中小企業の皆さまのDX推進を支援するために外部専門家派遣や滋賀県よろず支援拠点との連携を行っています。

外部専門家派遣

外部専門家派遣とは、中小企業診断士・公認会計士等の外部専門家を派遣し、経営診断や課題解決（ピンポイントアドバイス）、経営改善計画の策定支援、その他のフォローアップを行う事業です。

派遣費用は原則無料です（当協会負担）。



【経営支援について】

① 経営診断

専門家が事業内容や経営課題・お悩み事についてヒアリング・分析し、事業の向上や改善の方向性を提案します。DX推進に向けて、まずは経営のブラッシュアップから。

② 課題解決（ピンポイントアドバイス）「SNS・IT コンサルタントコース」

SNS・IT コンサルタントコースでは、SNS活用、HP改善および業務のデジタル化指導など経営に役立つ情報を提供します。

滋賀県よろず支援拠点による経営相談



よろず支援拠点は、中小企業庁の事業として運営されている相談窓口です。無料の経営相談やセミナーを開催し、中小企業の皆さまの経営課題に対するお悩みを一緒に解決しています。

IT活用支援を得意とするコーディネーターが、中小企業の皆さまのDX推進に向けた経営相談とサポートを行っています。（相談は無料です。）



【よろず支援拠点 HP】

お問合せはこちらまで



きっかけは、その保証でありたい

滋賀県信用保証協会

保証部 保証第1課 / 第2課

TEL: 077-511-1321 / 1322

経営支援部 経営支援課 / 経営相談課

TEL: 077-511-1323

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜 2-1 「コラボしが 21」 7 階



【資金繰り相談窓口】



【経営相談窓口】

中小企業のための

DX推進のススメ

滋賀県信用保証協会はお客様のDX推進に向けた取り組みを

金融支援・経営支援で応援します！

DXとは？ Digital Transformation...

企業がデジタル技術を活用して
製品・サービスやビジネスモデルを変革し、
競争優位性を高めること！

- 単にITツールを導入するだけでなく、業務全般にわたってデジタル化を進めることにより、競争力の強化を図ります。
- 中小企業でも、DXを取り入れることで、未来の成長を支える基盤を作ることができます。

手段

デジタル技術の活用



デジタル技術

- ・クラウド
- ・IoT、ビッグデータ
- ・AI
- ・RPA

対象

事業やビジネスモデルの変革



ひらめき・創出

- ・業務効率化
- ・顧客体験の向上
- ・新製品・サービス創出
- ・新たなビジネスモデル創出

目的

競争力（企業価値）の向上



競争力向上

- ・顧客提供価値向上
- ・収益性向上
- ・人的資本経営の実現

IT化
(手段)



既存の業務プロセスを
デジタル化し効率化する

DXとIT化の違い

≠

IT化はDXのための手段

DX
(目的)



デジタル技術を活用し
製品・サービスや
ビジネスモデルを変革する

DX（デジタルトランスフォーメーション）は、「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。」と定義されています。（*）

（* 経済産業省の「デジタルガバナンス・コード 3.0」より）

DX推進のメリット

1 業務効率化とコスト削減

手作業で行っていた各業務のデジタル化を進めることで、業務効率化やコスト削減を実現できます。

例えば、書類で管理していたデータをクラウドで一元管理したり、RPAの導入によりデスクワークの一部を自動化したりすることで、作業時間の短縮やヒューマンエラーの防止、作業人員の縮小などが可能となります。

3 新たなサービスやビジネスモデルの創出

既存業務のデジタル化を進める中で、効率的なオペレーションや先端技術活用等のノウハウを得ることができ、新たな顧客体験や提供価値の実現に繋がります。

デジタルをベースとした新規性の高いサービスやビジネスモデルの創出により、競合との差別化や収益性の向上を図ることができます。

5 事業停止リスクの回避(BCPの充実)

DXの推進はBCP(Business Continuity Plan＝事業継続計画)の充実に繋がります。

例えば、リモートワークを推進することで災害や感染症の流行時にも大きな支障なく業務を進められ、また、レガシーシステムを脱却することでシステム障害が発生した際にも復旧に時間がかかるといったリスクを避けられます。

BCPの充実は、取引先等からの信頼性の向上や企業価値向上にも繋がります。

2 データ活用による企業競争力の強化

データの収集や蓄積しているデータを有効活用することで、企業の競争力を高めることができます。

例えば、より広範囲な顧客情報や消費行動データを収集したり、バラバラに管理していたデータを一元管理できるシステムを構築することで、より詳細なデータを活用し、精度の高い戦略や企画の立案が可能となり、差別化を図ることができます。

4 働き方改革の推進

DXの推進による業務効率化は、従業員の長時間労働の削減に直結します。また、リモートワークの環境を整備することで、柔軟な働き方を実現することに繋がります。

より働きやすい環境を整えることで、従業員の負担軽減やモチベーション向上が期待できるとともに捻出した時間をより付加価値の高い事業に集中させることで生産性の向上を図ることができます。



DX推進に向けた金融支援

滋賀県信用保証協会は、経営課題の解決や生産性の向上を目的としてデジタル技術の活用やシステムの導入等により、DXに取り組み、成長・競争力の強化を図るために必要となる事業資金を信用保証で支援しています。

政策推進資金(DXデジタル推進枠)

<滋賀県中小企業振興資金融資制度>

対 象 者	デジタル技術を有効に活用するなど、DXに取り組み、経営課題の解決や生産性の向上を目指す中小企業、協同組合等									
融 資 限 度 額	3,000 万円以内									
融 資 期 間	10 年以内 (据置期間 2 年以内)				融 資 利 率		年 1.7% 以内 (固定)			
信用保証料率	0.45~1.20%									
	一般保証 (%)									
	料率区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	保証料率	1.90	1.75	1.55	1.35	1.15	1.00	0.80	0.60	0.45
	DXデジタル推進枠 ↓ 区分 1~6 保証料 0.70~0.05%の割引									
	保証料率	1.20	1.15	1.10	1.05	1.00	0.95	0.80	0.60	0.45

活用例

設備資金

① 顧客管理システムの導入

会社全体の顧客情報を一元化し、社員の営業ルートや顧客との面談記録等を分析することによって、営業活動を最適化するなど、営業方法を変革する。

② ライブ・動画配信システムの導入

オンラインのイベント開催や商談等で、外部へ情報発信することにより、市場の拡大や新規顧客の開拓を図るなど、営業力を強化する。

③ 受発注システムの導入

お客様からの受注、仕入先への発注、入庫、在庫管理、出荷・納品、請求など、商品とお金の流れを管理、分析することにより、在庫管理や受発注処理を見直すなど、業務を変革する。

運転資金

① 他社システムの利用料、契約料

他社のシステムを自社で利用する場合の利用料や契約料。

② システム導入・利用にあたってのサポート支援にかかる費用

- ・システム導入・利用にあたっての課題解決策や運用支援を受けるためのサポート費用、アウトソーシングにかかる費用。
- ・システムの利用方法等に関する社員向け研修を開催する場合の講師への謝礼等。

③ システム改修費

導入したシステムに改修が生じたときの費用。

※その他、デジタル技術の活用やシステムの導入等により、経営課題の解決や生産性の向上を図るために必要な設備資金・運転資金に該当すると判断できるものについては、融資対象となります。

※単なる機器の修繕やシステムの保守など、現状維持や原状回復にとどまるものは対象となりません。